

## ■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
配当金受領株主確定日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 ※中間配当の実施を取締役会で決議した場合
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 無料
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li><li>● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。</li><li>● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料として使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。</li></ul>



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2016年上半期は、前年同期比で円高が進行したことによる売上高の押し下げ要因がありましたが、歯科製品関連事業の主要市場である欧州地域などが好調に推移した結果、増収を確保することができました。一方、利益面では、一般管理費の増加や円高による為替差損を計上したことなどにより、減益という結果になりました。

下半期につきましても、為替相場の急変動など、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。この様な厳しい環境のなか、当社は引き続き、お客様に感動を与える革新的な製品の開発、高品質を支える製造技術の更なる向上、お客様から信頼される販売ネットワークとアフターサービスの充実を図り、中長期的な成長を目指してまいります。

株主の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。

代表取締役社長  
中西 英一




## 2016年上半期の業績について

当上半期は受注、出荷とも堅調に推移し、物量ベースでは前年同期を上回りましたが、円高が進行したことによりその効果が相殺され、売上高については若干の増収にとどまりました。また、利益面では、固定費の増加や、為替差損を計上したことなどにより減益となりました。

### 【売上高】

欧州、北米、アジア、その他の地域ともに、現地における販売は堅調に推移しましたが、ユーロ、ドル、中国人民元などの主要通貨に対して円高が進行したことによる円換算額の減少に加え、主に国内の歯科製品関連事業が減収

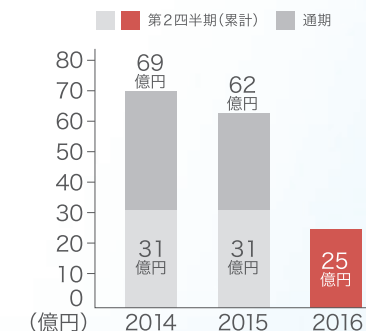
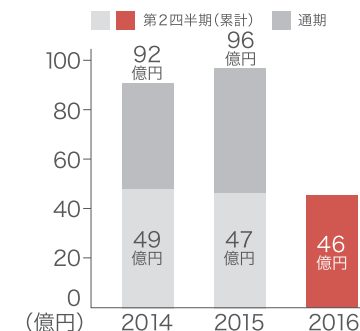
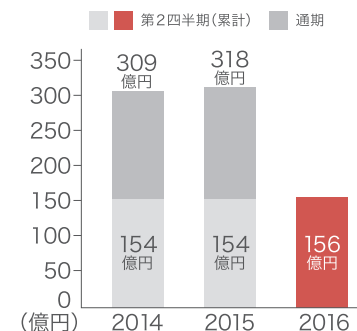
となったことなどから、売上高は前年同期比1.2%増の156億円にとどまりました。

### 【営業利益】

円高の影響による売上総利益の減少に加えて、主に人件費等の一般管理費が増加したことから、前年同期比2.5%減の46億円となりました。

### 【親会社株主に帰属する四半期純利益】

前期末と比較して円高が進行したことから、外貨建資産の評価減を中心とした為替差損9億円を計上したことなどにより、前年同期比17.4%減の25億円となりました。



## 歯科製品関連事業の概況について

当社製品に対する高い信頼性と、歯科機器の展示会などにおける積極的なマーケティング活動により、インプラントモーター、根管治療用機器、予防歯科関連製品などが好調に推移しました。昨年の新製品である小型滅菌器に加えて、今年の新製品である訪問歯科診療ユニットも好評であり、今後も引き続きブランド価値の向上に努めてまいります。

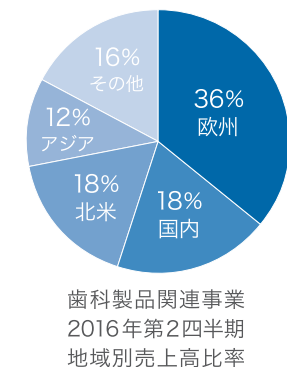
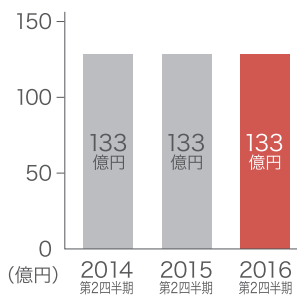
[ 欧州 ] 円高ユーロ安による売上高の減少があったものの、主力のドイツ現地法人が売上を伸ばしたほか、スペイン現地法人が高い増収率を達成するなど、公共セクターが不調だったイギリスを除く各地域ともに好調だったことにより、前年同期比3.3%の増収となりました。

[ 国内 ] OEM向け製品は堅調に推移し、昨年発売した小型滅菌器も引き続き好調な動きでしたが、代理店向け自社ブランド製品は、前期末の出荷増の反動による第1四半期の落ち込みをカバーしきれず、前年同期比6.7%の減収となりました。

[ 北米 ] 米国における販売は堅調に推移し、現地通貨ベースでは増収となりましたが、カナダドル安の影響でカナダの販売が低調だったことに加え、円高、ドル安による円換算額の減少により、前年同期比1.5%の減収となりました。

[ アジア ] 販売チャネルの再構築が順調に進んだ韓国が大幅な増収となり、中国も順調に推移しましたが、主に円高、中国人民元安による円換算額の減少により前年同期比3.4%の減収となりました。

[ その他 ] 原油安の影響などにより中近東が低迷したものの、インプラントモーターなどが好調な南米が大幅に売上を伸ばしたほか、ルーブル安の影響などにより前期、前々期と大幅に苦戦が続いたロシアに復調の兆しが見えてきたことなどもあり、その他地域の売上高は前年同期比6.7%の増収となりました。



## 工業製品関連事業の概況について

当上半期は受注、出荷ともに好調に推移した結果、売上高は前年同期比6.7%の増収となりました。

国内では2015年6月に立ち上げた中部営業所が寄与し、自動車関連メーカーを中心としたお客様への営業活動の強化につながりました。北米では円高ドル安による影響を上回る増収となり、欧州も堅調に推移しました。また、自動車関連業界に続く新しい市場として航空機関連業界への進出も試み、将来の布石としてシンガポールにおける航空機関連R&Dプロジェクトに参画するなど、中長期的な事業拡大に向けて積極的な活動を展開しております。

今後も引き続き、高い精度が要求される小径の高速スピンドルの開発、製造、販売に力を入れ、オンリーワンスピンドルメーカーとして、更なる市場の拡大に努めてまいります。

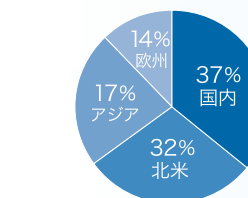
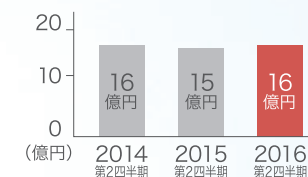
## 2016年度の通期業績予想について

通期業績予想につきましては、2016年2月5日の公表値から変更ありません。下半期も引き続き主力製品の拡販、世界的なブランディングを推進し、各セグメント、各地域においてシェア拡大に努めてまいります。

## 中間配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、業績動向及び事業展開に備えた内部留保等を勘案したうえで、安定的に配当を継続することを基本方針としております。2016年度の中間配当につきましては、前年同期と比較して50%の増配となる1株につき30円の配当を実施いたします。

なお、期末配当金につきましては、2016年2月5日公表の通り1株につき30円を予想しております。

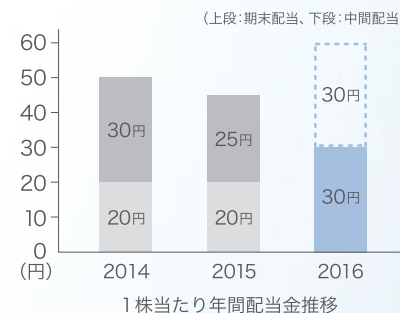


工業製品関連事業  
2016年第2四半期 地域別売上高比率

2016年12月期 業績予想		
売上高	317億円	前期比 0.4% 減
営業利益	84億円	前期比 12.4% 減
親会社株主に帰属する当期純利益	54億円	前期比 12.6% 減

想定為替レート

1USドル	115円	1ユーロ	125円
-------	------	------	------





## 訪問歯科診療ユニット「ビバエース」発売 2016年7月

業界最軽量・最小サイズを実現。これ一台で診療室と同様の治療が訪問先で可能に！

高齢化社会が急速に進展している今日、歯科医に通うことが困難な高齢者の口腔ケアや治療を担う「訪問歯科診療」の重要度がますます高まりを見せております。その様な状況の下、高齢者の残存歯数が増加し、訪問先においても幅広い治療が求められています。

これまでの訪問歯科診療ユニットは、非常に重く、大きいため、持ち運びしにくく、本当に使いやすい製品は存在しませんでした。そこで、当社は業界最軽量・最小サイズを実現した訪問歯科診療ユニット「ビバエース」を製品化しました。軽量で女性でも持ち運びやすく、車での積み下ろし、階段の昇り降りもラクに行うことができ、訪問先から訪問先への移動も容易になります。また、機能面では、義歯調整から虫歯治療、歯の神経治療、歯垢(プラーク)や歯石の除去まで、あらゆるニーズに対応できます。

これまでに無かった業界最軽量・最小サイズでありながら、診療室と変わらない高機能システムを搭載している画期的な新製品として、発表直後から非常に高い評価を得ております。

**VIVAace**  
訪問歯科診療ユニット



どこにでも持ち運べる  
軽量 **8.6kg**



## 北米における大規模なマーケティング活動を継続中

2016年5月、カリフォルニア州アナハイムで開催された歯科機器の展示会「CDA 2016」に出展しました。2015年11月に開催されたニューヨークの展示会を皮切りに、北米における出展ブースを数倍規模に拡大し、レイアウトや販促物などのデザインも一新させるなど、大規模なマーケティング活動を継続展開中です。NSKブランドの認知度向上によるシェアアップを図るため、今後も引き続き北米におけるマーケティング活動に注力してまいります。



北米での展示会風景

## 上海にてハンズオンセミナー開催

中国、上海において歯科医師による当社製品の実習セミナーを開催しました。口腔内の骨を切削する際に使用する外科用超音波装置「バリオサージ」の治療用途や使い方について、歯科医師による丁寧な指導のもとで実習が行われました。また、上海第六病院においては、口腔外科の先生方を対象とした講演会を開催し、約170名の先生が来場され、盛況のうちに終わりました。当社は、歯科医師などの医療関係者と学術的な連携を深めるため、専任部署NSK Academy部を設けて活発な交流活動を行っており、昨年実施したタイ、今回実施した上海に続き、今後も海外においてセミナーや講演会などを開催いたします。



ハンズオンセミナー(上海)



学術講演会「上海第六病院」

## 第37回「2016 日本 BtoB 広告賞」金賞 他受賞

ビジネス・マーケティング・コミュニケーションの一翼を担うBtoB広告の発展と総合的なレベルアップを図ることを目的として1980年から開催されている日本 BtoB 広告賞において、全13部門375点の中から当社の歯科ウェブサイトとカタログ2点の計3点が入賞いたしました。

受賞作品は、各コンテンツのクオリティーの高さが評価されたことに加え、製品の品質、精度、力強さなどの特徴紹介と、製品情報の提供に関して、顧客視点に立った企業姿勢が評価されました。今後も、当社のお客様に対して、気配りの行き届いた製品情報提供を心掛けていきたいと考えております。

製品カタログ<総合>の部  
金賞



オーラルハイジーン  
総合カタログ

ウェブサイト<一般サイト>の部  
銀賞



NSK 企業サイト

企業カタログ  
<会社案内・営業案内>の部  
銅賞



I am NSK

## 日経BP Marketing Awards クリエーティブ部門 最優秀賞受賞

当社の工業製品関連事業の企業広告シリーズ『愛しきものたち』が、名だたる大企業の企業広告を抑えて、日経BP Marketing Awards クリエーティブ部門の最優秀賞を受賞しました。

当社の工業製品関連事業の製品は、極めて微細な加工に用いられる機器であり、スマートフォン、ハードディスク、自動車部品などを加工する工作機械に搭載されるスピンドルのほか、職人の方々が手作業で加工する際に用いられる製品も製造・販売しております。

受賞した広告は、当社製品を利用した伝統工芸品の制作風景や、ものづくりに取り組む職人の方々の姿を、美しく印象的な写真や動画などで表現している点が評価されました。

写真や詳細な訪問レポートは特設ウェブサイトに、動画はYouTubeにおいて公開中です。

ナカニシ 愛しきものたち

検索





## 大阪事務所移転 ショールーム&セミナールーム開設 2016年4月

国内におけるマーケティング活動を更に強化するために、西日本では当社初となるショールーム&セミナールームを開設しました。

医療機器の販売活動においては、セミナーや講演会を通じて歯科医師、歯科衛生士、販売代理店の方々に製品特性を説明し、実物を触っていただくことが重要な要素となります。これまで開催拠点がなかった西日本においても、各種セミナーや講演会、製品説明会を積極的に開催するため、利便性の高い地域に事務所を移転し、営業・マーケティング拠点としての機能をもたせました。

2016年5月14日には新しいナカニシ大阪事務所のオープンを記念し、歯科業界のKOLである本多正明氏を講師に招いて講演会を開催しました。多くの歯科医師の方々、関係者の方々にご参加いただき、ご好評のうちに終了しました。ナカニシは、新しい大阪事務所からも、日々進化する歯科医療の新技术の発信を続けてまいります。

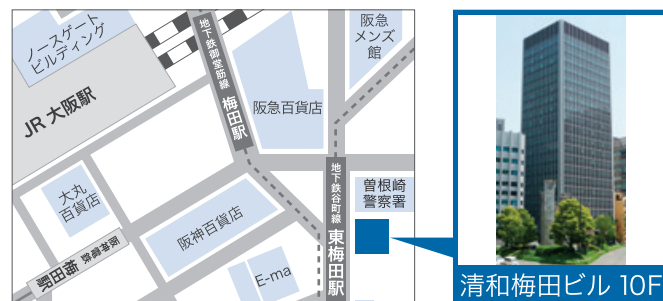


ショールーム



セミナールーム(オープン記念講演会)

【新大阪事務所】  
〒530-0057  
大阪市北区曽根崎2-12-7 清和梅田ビル 10F  
TEL: 06-6315-7217 / FAX: 06-6315-7218

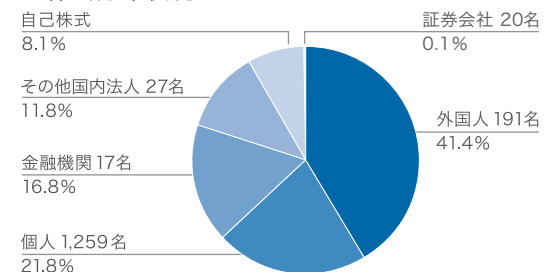


清和梅田ビル 10F

## 株式の状況 (2016年6月30日現在)

- 発行可能株式総数.....125,000,000株
- 発行済株式の総数.....31,419,800株
- 株主数.....1,515名

### ■ 株式分布状況



### ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ナカニシ E&N 株式会社	1,510千株	5.2%
中西崇介	1,430千株	5.0%
中西千代	1,430千株	5.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,305千株	4.5%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,275千株	4.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,142千株	4.0%
株式会社オフィスナカニシ	1,040千株	3.6%
中西英一	938千株	3.3%
中西賢介	935千株	3.2%
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632(信託口)	877千株	3.1%

(注) 1. 当社は、自己株式を2,544千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要 (2016年6月30日現在)

社 名 株式会社 **ナカニシ**  
 設 立 1951年2月  
 代 表 者 代表取締役社長 中西英一  
 資 本 金 867,948,542円  
 従 業 員 数 934名(連結)  
 事 業 所 栃木県鹿沼市下日向700番地  
 本社・工場  
 東京事務所  
 大阪事務所  
 ドバイ事務所(UAE)  
 モスクワ事務所(ロシア)

役 員 代表取締役社長 中西英一  
 代表取締役副社長 中西賢介  
 専務取締役 尾上俊治  
 常務取締役 松岡 薫  
 取締役 野長瀬 裕二  
 常勤監査役 豊玉英樹  
 監査役 染宮 守  
 監査役 澤田 雄二

主要関係会社 NSK-America Corp.(アメリカ)  
 NSK Europe GmbH(ドイツ)  
 NSK France S.A.S.(フランス)  
 NSK United Kingdom Ltd.(イギリス)  
 NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン)  
 NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア)  
 NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国)  
 Dental X S.p.A(イタリア)

主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二は社外取締役です。  
2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。